

施工者育成プログラム

チームで完成する施工方式+現在の住宅施工者に求められる技能習得や能力育成に特化

HOUSING
NEW PROCESS
人材育成
cultivation of human resources

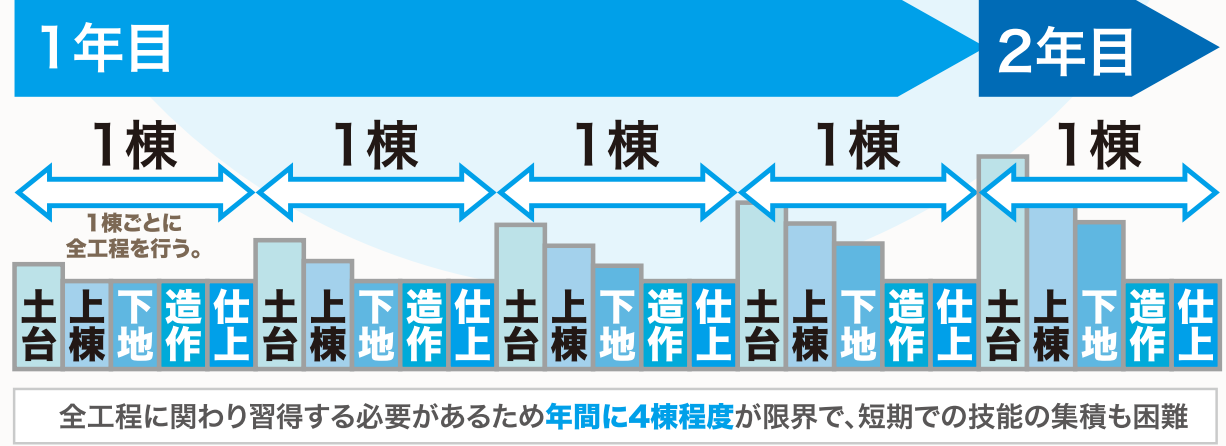
OLD SYSTEM 従来の親方方式

PROBLEM

OLDSTYLE

一人前に育成するのに約15年
(4棟/1年のペースでは前の経験を忘れる)
全工程習得が職業的自立の条件
全工程を1人で完成させる事が必要
親方毎に異なる技能を伝承

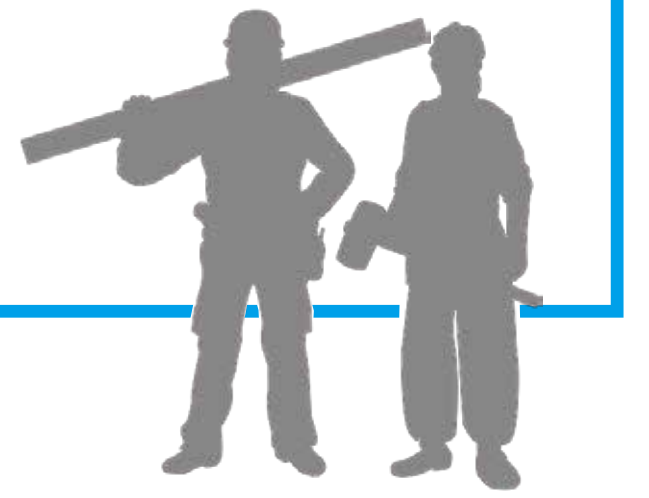
PHASE 平板的・非積層な作業の反復



OLDSKILL

従来の大工に求められていた事

- 伝統的仕口を作る技能
- 経験と勘を活かした作業
- 材木を見て木を活かす能力
- 徒弟制度で技能を伝承



- ➡ 人材不足が発生しているにもかかわらず、大工には熟練した技術が要求される。
- ➡ 一方で、プレカット技術などの進展により、大工の伝統工芸的技術が不要となって来ている。
- ➡ 急激な技術や建物の進化によって、これからの大工には「省エネ」「高耐震」「高耐久」に関する知識や技術が必須スキルとなる。
- ➡ 現場における技術や構築物の先進化が、大工に高度なコミュニケーション力と接客技術及び説明能力を求めている。
- ➡ 上記の錯綜した課題に対し、従来の小規模な徒弟制度では速度や質の両面に対応できない不安や不満が高まっている。

NEW SYSTEM 新たな施工者育成方式

NEWSTYLE

SPECIALIZE

段階的集中施工による施工人材の早期育成

(集中施工で短期間での技能習得/モチベーションの継続/徒弟制度には無い経済的安定)

さらに

仮に途中のステップで留まっても職業的自立が可能

高齢施工者に働く機会を提供

(個人の体調や価値観で働く場を選択できる)

次工程を意識するチーム施工により品質向上が図れる

これからの住宅施工者に求められている事を実現

NEWSKILL

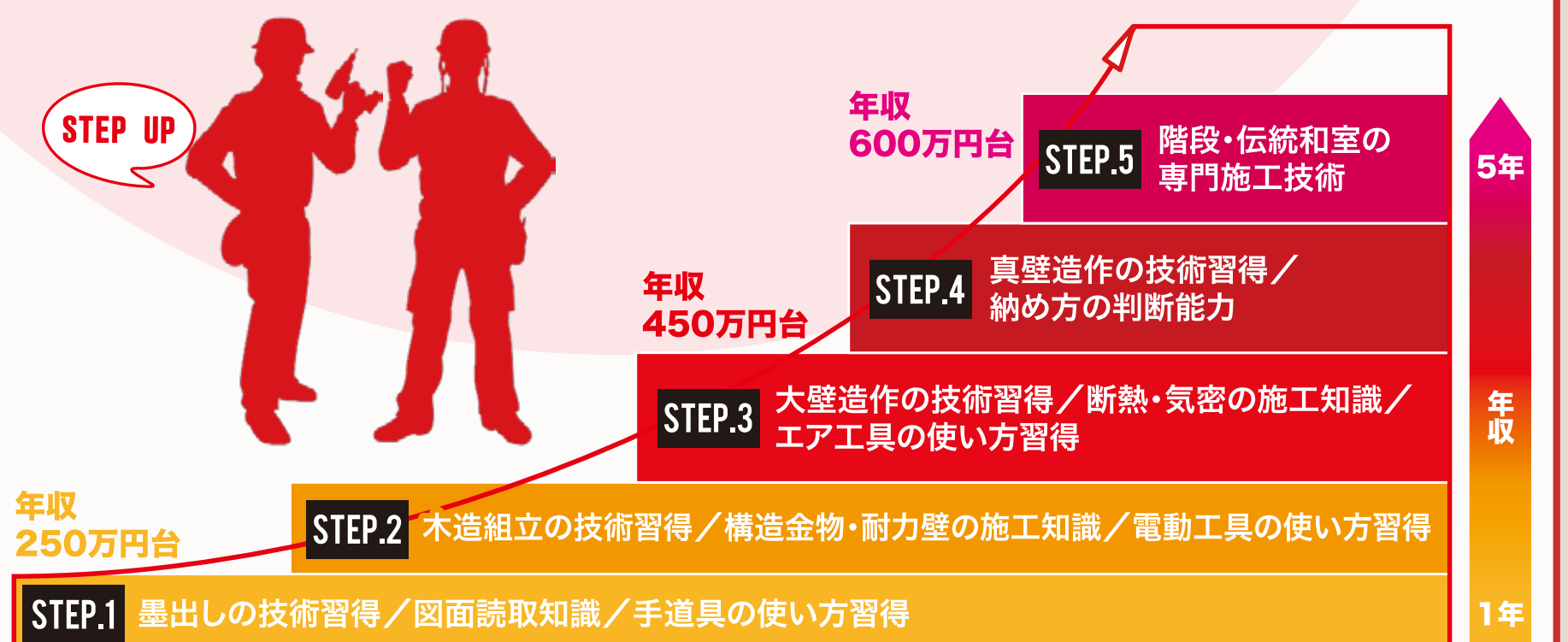
- プレカット構造の効率組立
 - 最新の断熱気密施工知識
 - 金物や釘ビス種の知識
 - 正しい耐火施工の知識
 - 正確に図面を読み造る力
 - 顧客に対する説明能力
 - 接客技術
- プラス

- ➡ 従来の徒弟制度では成しえなかった、時代や個性にマッチした多様な働き方を可能とした。
- ➡ 施工の各工程を分業制にし、ステップアップ方式による段階的スキル習得プロセスを導入した。
- ➡ ステップは工程と建物構造のセグメントを合致させ「土台敷」「建方」「2階造作」「1階造作」「難所専門工」とした。
- ➡ ステップ化における同種作業の集中で技能の習得は飛躍的に早まり、通常の1/3程度の期間でのステップアップも可能となった。
- ➡ 早期の技能習得で賃金も上がり、このサイクルで有能な施工者が育成され、就業に対する意欲の継続が業界全体の活性に繋がる。

チーム施工によるステップアップ方式で施工棟数と技能習得がアップ



PHASE 積層される技能とコミュニケーション力



SOLUTION

住宅建築分野全体へ波及するビジネスモデル



集中施工による施工人材の早期育成で職人不足に対応



座学を含む研修制度により最新の知識や技術を習得



後工程を意識するチーム施工で品質の安定と向上を実現



個人毎に異なる立場に対応した多様な働き方に対応



高齢者大工の収入の安定や生きがいの提供

時代にマッチした高性能住宅を施工できる技術者の育成と、高齢者や様々な事情を持つ多様な人々にも働く場を提供